

電波タイムズ

The Dempa Times

ワールドカップ4試合の放送も予定



4K試験放送で映し出された映像

最先端の技術で世界をリード

「Channel 4K」スタート



⑥から須藤氏、上川氏、谷村氏、渡辺氏

各メーカーの最新機種を展示 4K番組を見比べるデモも

放送開始を前にまず主催者挨拶として渡辺名誉会長が登壇した。「このフォーラムは昨年の5月にオールジャパンの推進体制として発足しました。これは総務省の検討会で策定されました。そのロードマップの

目標である4K・8Kの高精細な映像による放送サービス等の早期実現に向けて取り組んでまいりました。今般、2014年に4Kの試験放送を開始するという最初の目標に沿った形で、衛星放送、ケーブルテレビ、そしてIPTV、揃って放送開始を迎えることができま

した。これからも引き続き、2016年そして2020年の目標に向けて、関係者が一致協力して取り組み、東京オリンピック・パラリンピックの際には、全国の方々が

4K・8Kの映像をご覧いただけるように本フォーラムが、その取り組みの中心になって、進めていきたいと思っております。

一方で4K・8Kの超高精細な映像技術は、医療や教育など多くの幅広い分野において、新たな付加価値や課題解決の手段となりうるものです。そういう意味で大変幅広い波及効果が期待されると思います。こうした次世代のサービスを一日も早く実現し、新たな市場を創出することが我が国のICT戦略の柱であり、同時に成長戦略を牽引するものと考えています。最先端の技術を日本のコンテンツや文化と共にグローバルに展開していくことも大変重要であると考えます。本日を大きな一歩として、4K・8K等の次世代の放送・映像サービスの関連産業が、大いに活性化をし、我が国の経済成長を牽引していくことを祈念します」と述べた。

続いて来賓挨拶として、総務副大臣の上川陽子氏が登壇した。「総務省では日本経済の再生、国際競争力の強化につながる成長戦略のひとつとして4K・8K

の放送の早期実現を推進してきました。4Kにつきましては、本年2014年に、また8Kにつきましては、2016年に試験放送を開始するロードマップを策定し、予算などの面でも後押しをさせていただきました。この目標に沿ったかたちで、衛星放送、ケーブルテレビ、IPTVの各メディアにおきまして試験放送が開始されます。全国をカバーする衛星放送によりまして、4Kの放送がご家庭で視聴可能となるのは、世界で初めて伺いました。大変素晴らしいことだと感じます。

今後は2016年までに4Kの本放送の実現、8Kの試験放送開始を目標に取り組みを進めていきたいと思っております。そして、2020年東京オリンピック・パラリンピックの際には、日本全国の多くの方々に4K・8Kの臨場感溢れる映像を楽しんでいただきたいと思います。また我が国の技術力の高さ、魅力的なコンテンツを世界にアピールする機会と考えています。4K・8Kの高精細な映像技術は、放送のみならず医療、教育など幅広い産業分野において利用可能性と同時に波及効果も大変大きなものご期待をされるものです。ひいては日本の経済の活性化の大きな鍵になると思っています。総務省としても、引き続き、次世代放送推進フォーラムの

皆様と連携をしながら、4K放送の普及、8K放送の早期開始に向けて取り組んでいきます」と話した。

次に須藤理事長が、放送開始についての説明を行った。「ちょうど1年前の6月、この同じ会場、フォーラム設立の発表会を開催しました。それから約1年、今日無事に4Kの放送を開始することができるといふことに非常に喜びを感じています。日本でも初となるこの放送の愛称は「Channel 4K」です。私たちNEXTV-Fのメンバーが一致団結をして、このフォーラムが放送運営主体となり、試験放送を継続してまいります。今日この

この後、カウンタダウンセレモニーとなり、13時の放送開始と共に挨拶を行った渡辺氏、上川氏、須藤氏とゲストで招かれた谷村新司氏の4名が開始時間と同時に巨大スイッチを押して、放送開始となった。その後は、記念番組受信上映となり、続いて昨年4Kで撮影、収録した「アリス武蔵館コンサート」の様相を映像を観ながら、司会を務めたテレビ朝日の小川彩佳アナウンサーと

会場では、メーカー各社の協力により、後ほど実際の衛星放送を受信した画像をご覧いただきます。が、一般のご家庭で4K、そして1秒間に60コマ、60pという高画質で滑らかな映像を放送できる楽しみいただけることには、今日世界で最先端を走っていることを意味しています。4Kの放送、これは衛星放送だけではなく、ケーブルテレビやIPTVでも放送やVODのサービスが行われます。当面この試験放送では毎日13時19時までの6時間、4Kの放送を行います。ちなみに多くの方が関心をお持ちになっているかと思う、間もなく開催される「IFAワールドカップ2014」については、1次リーグの日本戦を1試合、セカンドステージ、決勝戦を含む3試合を4Kの衛星放送で実施できるよう関係機関の皆様と現在最終の調整を行っているところであります。

4Kとして2年後に開始が予定されている8Kは、放送やVODという家庭向けのサービスとしてはもちろん、様々な産業、公共的なサービスの高度化に役立つ、日本が優位性を持っているテクノロジーロジックです。今日の放送開始をきっかけに、改めて様々な面で社会や暮らしをより便利に豊かにするようサービスが実現できるよう、大きく育てていこうと考えています」と話した。

谷村氏、そして谷村氏と親交の深い渡辺名誉会長がトークを交えながら、感想を語っていた。

なお、会場では、現在日本で4K対応テレビを発売している5つのメーカー(LGエレクトロニクスジャパン、東芝、シャープ、パナソニック、ソニー)の最新機種に4K試験放送対応チューナーを取り付け、その映し出された映像を観るといふデモも行われた。横一列で5台が並ぶ格好になっていた。多くの報道陣は映像を見比べながら、色合いや映像の動きなどを確かめるなど、それぞれのメーカーの特徴をチェックしていた。

「この後、カウンタダウンセレモニーとなり、13時の放送開始と共に挨拶を行った渡辺氏、上川氏、須藤氏とゲストで招かれた谷村新司氏の4名が開始時間と同時に巨大スイッチを押して、放送開始となった。その後は、記念番組受信上映となり、続いて昨年4Kで撮影、収録した「アリス武蔵館コンサート」の様相を映像を観ながら、司会を務めたテレビ朝日の小川彩佳アナウンサーと

谷村氏、そして谷村氏と親交の深い渡辺名誉会長がトークを交えながら、感想を語っていた。